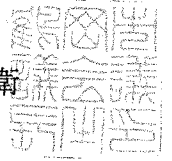


令和3年1月29日

鶴岡市長 皆川 治 様

鶴岡市議会議長 本間 新兵衛



市民との意見交換会で出された意見・要望等について（送付）

本市議会では、議会活動に関する情報を説明し、議会機能について理解を深めてもらうことにより、市民に開かれた議会を目指すため、新たな取組として、常任委員会ごとに班を編成し、市民との意見交換会を開催いたしました。

いただいた意見・要望等について、正副議長、各常任委員長、広報広聴委員会正副委員長で組織する市民との意見交換会調整会議にて協議した結果、別紙のとおり整理、集約しましたので、参考までお送りいたします。

なお、この意見等は、市議会ホームページで公表いたしますので、予めご承知おきください。

【総務班】テーマ：地域の活性化策（小さな拠点づくりの推進）

日時：令和2年10月20日（火）13:30～15:00 場所：大網地区地域交流センター 参加者：朝日東部地区自治振興会役員等 5人

【市民文教班】テーマ：ごみの出し方・減らし方 ①ごみ分別の周知 ②ごみ減量の取組 ③違反ごみ 他

日時：令和2年11月17日（火）14:00～15:40 場所：市役所 委員会室 参加者：鶴岡市廃棄物減量等推進員 7人

【厚生班】テーマ：1. コロナ禍における医療現場の課題、2. コロナ禍における医療機関と医療従事者に対する市民理解の促進、3. コロナ禍における医療従事者への差別、偏見の実態と対策

日時：令和2年11月6日（金）19:00～20:30 場所：鶴岡地区医師会会議室 参加者：鶴岡地区医師会役員等 6人

【産業建設班】テーマ：観光業の現状及び課題

日時：令和2年10月27日（火）13:30～15:30 場所：市役所 委員会室 参加者：市内4温泉観光協会・アツクル・DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー役員等 10人

執行機関に伝えるもの

No.	班名	主な意見等	(各班の) 回答等
1	総務	【小さな拠点事業の継続について】 地域の活性化について、何年という刻みは聞いていなかった。地域デザイナーを雇用することが条件だが、利益を追求する事業ではない。 雇用確保が必要だが、来年から人件費は出ないことになると、来年からどうするかが問題。 丸投げされてやれといわれても無理。地域振興課に相談しても、これに準ずるものがあるかと尋ねるとないと言われている。	(班会議での意見等) ・朝日庁舎に継続することができないか検討を依頼している。
2	市文	8月26日に開催された市廃棄物減量等推進委員で、ごみ処理に関して、「三川町の住民の方とも一緒に意見交換できれば良いのでは」と提案している。	
3	市文	違反ごみ(意図的な)としてとらえるのではなく、分別の勘違いとしてとらえ、行政における周知の在り方について、再認識が必要ではないか。	
4	市文	ごみの分別表やカレンダーについて、広報等との一緒に配布で、見逃している人もいる。再配布や年一回の発行が必要ではないか。	
5	市文	市のごみ減量目標、違反ごみ発生・状況データ・数値化して取組の成果や・改善点、課題など、エコ通信・市広報等、市民へ周知、目に見えるようにしてほしい。	
6	市文	人口減少する中で、ゴミが増えるのはなぜか。ゴミが増えるから有料化が市の狙いなのではと感じる。人口減少で運営費が困難なら理解もできるが、「人が減るのに、ゴミが増える」ということが理解できない。	廃棄物対策課からは、「人口は減っているが、世帯数が減らない」ことから、ごみ減量が進まないとの話がある。ごみ減量は課題であり、燃やすごみでの生ごみの脱水処理など、知恵を出す必要がある。
7	市文	議会公報でごみリサイクル率が12%ぐらいと知ったが、残り88%がどこに行っているのか、何を基準に12%なのか、上げるにはどうしたらいいのか。	市のリサイクル率は、あくまでも市が回収したもので算定。スーパーなど民間が取組むものは算定されていない。そこが入れば若干違ってくるのかとは思いますが、全国的に見ても市のリサイクル率は低いと思う。
8	市文	ゴミの減量、状況、可燃ごみ量、リサイクル率などの推移、データ、グラフで、市民に分かりやすいように伝えるべき。そうした取り組みで、市民が関心を示し刺激になれば少しは良くなると思う。	
9	産建	温海庁舎とタッグを組んで観光庁の実証実験に取り組むなど関係は良好だが、近年支所長の異動が1年ごとと頻繁。ある程度長いスパンで一緒に事業に取り組みたい。	
10	産建	現状新しい生活様式に対応しているため満室でもコロナ禍以前7割の売り上げしかたたない。大きい旅館ほど苦しい状況。次年度の固定資産税猶予は決まっているが、今年度分の猶予もお願いしたい。県内で実施を決めた自治体もある。	
11	産建	①行政との連携や補助金の情報収集等、伴走してくれる職員が観光協会にいと大変助かる。その部分への支援がほしい。 ②イノシシの増加による孟宗への被害が出ている。重要な観光資源を守るための対策を早急にしてほしい。	
12	産建	白山島の遊歩道が落石により封鎖されている。由良の重要な観光スポット。早急に通れるように対応してほしい。	

【参考】 今後、議会として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

No.	班名	主な意見等	(各班の) 回答等
1	総務	【除雪対策について】 空き家がたくさんある。空き家は、自分で雪下ろしをしなければならない。	(班会議での意見等) ・地域内で完結できる問題ではない。 ・NPO等、組織化の検討も必要があるのでは。 ・実態調査が必要だが、改築する朝日庁舎に豪雪時に緊急避難する機能を持たせること等を提案してはどうか。(月山国道維持出張所のような機能)
2	総務	【除雪対策について】 若い人は近隣まで雪下ろしを手伝わなければならない。1回ではすまない。2回も3回も手伝っている。道路の除雪はきれいだが、家の雪下ろしは困難。	
3	総務	【除雪対策について】 冬は家に帰れなくなる人が出ている。国道から先には入れなくなり、ホテルやコンビニの駐車場に車中泊するときがある。	
4	総務	【農業(耕作放棄)対策について】 中山間地域等直接支払事業補助金は助かっているが、もう一期はできない。今後、荒れて田んぼはつくれなくなる。転々とあるので移動が困難。人手が足りない。	(班会議での意見等) ・コロナ禍となり中山間農業守るための国の予算が今後どうなっていくか心配である。 ・平場と中山間地の対策は違う。政策的に課題解決していかなければならない問題 ・鳥獣被害は農業だけの問題ではなく、コミュニティ(住民生活)の問題でもある。 ・中山間地は大規模に集約することが難しい。
5	総務	【農業(耕作放棄)対策について】 鳥獣被害がもろにある。(さる、いのしし)	
6	総務	【農業(耕作放棄)対策について】 一反歩2万の補助金? 検討はなっていない。水の管理が大変。	
7	総務	【六次産業化(体験農業)対策について】 加工室をつくることを検討しているが、どのように維持していくかが課題。	(班会議での意見等) ・例えば保健所の許可を得るにしても容易ではない。行政がもっと農家に寄り添って、入り込んでいかないと解決できない。 ・加工によって農家所得を増やすことは大網だけの課題ではなく、全市的な課題 ・農家は加工することはできるが、販路の開拓等は難しい。 ・加工できる資源がどれだけあるのか。 ・コーディネーターだけではケアできていない。農家が作ったものを集めて売ることまでできる人材(地域おこし協力隊等)が間に入ることで、持続が可能となり、小さな拠点のモデルになるのではないかと。 ・大網だけでスキームを作るのは難しい。朝日地域全体で考える必要あるのではないかと。 ・大網地区では、現時点で外部人材(協力隊員等)を入れることに躊躇しているようだ。
8	総務	【六次産業化(体験農業)対策について】 プール跡地を加工場に利用できないか、今後の相談。加工場で何をつくりたいのか検討が必要。	
9	総務	【六次産業化(体験農業)対策について】 月山筍 缶詰をつくりたいという要望があったが、運営体制が出来上がらなかった。造れるようにはしてある。月山筍の缶詰、春と秋だけでは事業として維持できない。	
10	総務	【六次産業化(体験農業)対策について】 毎年県外から収穫者が来るが、畑の手入れについて人手をどう入れるかが課題。建設業者に頼めば一日2万、3万くらい請求される。	
11	市文	資源ごみの回収、特に雑紙の分別・回収に課題がある。子ども育成会での回収をやめた地域では、月一回のステーション回収を実施している。櫛引や朝日では指定日時での庁舎での回収をやっているが、取組が不十分と思われる。	
12	市文	ごみの減量の提案。食べ残し、残渣の堆肥化。外食産業での取組、家庭での段ボール等での堆肥化。燃えるゴミ減量化で循環型になる。農家は生ごみ出ないが、街中はできない、乾燥化や粉碎して下水道へ流すのもあると聞く。堆肥化、資源化など機器導入の支援もあるのでは。	
13	厚生	休日夜間診療所の運営について、市長に要望書を提出した。医師会会員数の減少と高齢化のため、現在の診療体制を継続するのが難しくなっていることから、外部医師への委託や、平日夜間診療の縮小等を要望したものである。条例改正が必要であり、議会に諮ることとなるので、よろしくお願ひしたい。	厚生常任委員会で審査することとなる案件であり、検討する。
14	産建	GoToがあるうちはよいがその後が心配。今年度様々な対策を市からも支援してもらいながら海水浴場を開設した。次年度の状況が見えない。先を見越した対応をお願いしたい。	
15	産建	行政支援をいただき大変助かっているが、コロナ終息後の観光の意識が変化した世の中にどのように対応していくかが見えない。市としての展望を明示していただかないと経営継続を考えていけないし、望みがない。出羽三山に注力していくべき。	

No.	班名	主な意見等	(各班の) 回答等
16	産建	GoToを中心に、国、県、市の施策が重なり宿泊が大変お得な状況で集客は現状良いが、2月以降全く見えない。需要の先食いになっているだけではとも感じる。国、県、市で連携を取り、ソフトランディングを考えてほしい。	
17	産建	あつみ温泉では観光庁の実証実験で温泉全体を整備し旅館の外でもくつろいでもらったり、自然体験、郷土料理体験も織り込み、地域全体を観光資源としている取組を実施している。新年度予算で継続したい。	
18	産建	今年度コロナ対策費300万を支援いただいて何とか海水浴場を運営できた。次年度は不透明と聞いている。25万人の海水浴客だが、湯野浜に宿泊は10%。庄内全体に経済効果をもたらしている。ぜひ開設させてほしい。	
19	産建	<p>いろんな支援、融資をいただいた。しかし、いずれ返さないと。しかし、集客は難しい部分も。今までの数字では動かない。「辞め時かな」という旅館もある。後継者に苦勞かけないようにという業者も。</p> <p>新しい鶴岡の観光の望みが欲しい。どんな鶴岡市の観光になっていくか？を提案・提示していただきたい。大きな負債を抱えたままでは「どこまで続けられるのかな」という思いも。</p> <p>出羽三山を大切にしてください、隋神門まで散策できるような観光を。中尊寺のような。かつて、出羽三山が地域を支えてきた。望みが欲しい。自分の感染しない、接客をしている。今のままだと辞めたくなる。キャンペーンについていけない旅館も。支援はありがたいが、その先の望み。</p>	